

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの尊さ」

砺波市立鷹栖小学校

平成25年2月14日実施

【いのちの先生】

伏木 弘先生

・伏木医院院長



○5年生児童

・今日、いのちの授業を受けました。私は、先生のお話を聞いて、健康な体で生まれてくれたことは、とても幸せなことだと思いました。また、お母さんはいろいろなことを頑張っていて、我慢していたと聞きました。ありがとうございます。これからは、自分の命はもちろんだけど、人の命も大切にしていきたいです。



まとめ

1. 皆さんは約1/120,000,000の確立で生まれた非常に貴重な人間であります。
2. 生命は意外にもろくはかないものである。ゲームのようにリセットしても生き返りません。
3. 人間は一人では育たないものである。いろいろな多くの方の援助により育つものであり感謝の気持ちを持たなければなりません。

○4年生児童

・いのちの授業を受けて、いのちは、1億2000万分の1の確率で生まれてきたということを知って驚きました。今私がここにいるのは、家族や友達のおかげだと改めて思いました。

○父、母より

・0歳から保育所に入っていたせいか、小さいころは2週間に1度は病気にかかって病院へ行っていました。辛そうな顔を見るのはかわいそうで私も辛かったです。今では、病気もせず、元気でいてくれることが、本当に幸せなことだと思っています。これからも元気いっぱいな〇〇でいてください。

○母より

・「切迫流産」を知っていますか。お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんが死にそうなることをいいます。〇〇は、お母さんのお腹で「切迫流産」になったことがあります。お母さんは病院に入院してお医者さんに助けてもらいました。生まれてくるまでも、いくつもの大変なことがあったんですよ。たくさんの人に守られた〇〇の命は、これからもお父さん、お母さんの「たからもの」です。